

豊平区実施プラン2008

豊平区は、自治基本条例の基本原則である『情報共有』と『市民参加』の取り組みを進めています。区民・企業・町内会・商店街・大学などの皆さまに幅広く参加していただきながら、豊平区のまちづくりを進めるため、さまざまな取り組みを行っていきます。

豊平区の目標

多様化する市民のニーズに的確に応えるため、
“市民が主役のまちづくり”をキーワードに2つの目標を設定しています。



ふれあいを
大切にすまち

自然豊かな
文化の香るまち



基本姿勢

目標を達成するために、2つの
基本姿勢で取り組んでいきます。



とよひらの個性を活かします

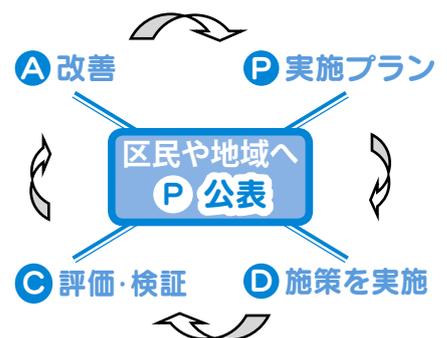


区民に信頼される区役所を実現します

推進体制

札幌市では、PDCAサイクルに基づいた経営管理サイクルを徹底しています。各局・区では**実施プラン(Plan)**に基づいて、局・区長のリーダーシップにより、さまざまな**施策を実施(Do)**します。実施した施策については、皆さまの声を踏まえながら、**評価・検証(Check)**を行ない、**改善(Act)**をすることで、取り組みの充実を図っています。

豊平区では、さらに、各種取り組みの情報提供、区民や地域との情報共有といった**公表(Publication)**を加えた『**PDCA+Pサイクル**』で、実施プランを推進していきます。



豊平区長 福島 廉則

4月1日付で、豊平区長に就任いたしました福島です。

豊平区は、150年の歴史があり、羊ヶ丘や西岡公園など、豊かな自然を持ちながら、札幌ドームやきたえーるなど、近代的なスポーツ施設を多く抱える、非常に魅力的な街であります。

札幌市が目指す、“市民が主役のまちづくり”を進めるため、私は、区民の皆さまとともに、考え、決め、そして行動していきたいと考えております。

今月号では、豊平区実施プラン2008を紹介しますが、これからも、広報さっぽろをはじめとした各種媒体や、さまざまな機会を通じて情報提供を充実していきますので、ご期待ください。

